# News Release

Electronics for the Future

2024年10月17日

ローム株式会社

音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎の意志を紡ぐ特別公演に伊藤恵が出演

# 「Ken Sato Memorial Concert Vol.4」の開催決定

ローム株式会社（本社：京都市）が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション（京都市）は、2025年1月18日(土)に「Ken Sato Memorial Concert Vol.4」を開催いたします。

ローム株式会社の創業者であり、ローム ミュージック ファンデーションを設立した佐藤研一郎（1931年～2020年）は、経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきました。そして、故人の意志を末永く紡いでいこうと2022年1月よりスタートしたのが「Ken Sato Memorial Concert」です。「お客様にお喜びいただけること」を大切にしていた故人らしく、ローム シアター京都のステージを彩り豊かな花で飾り、一流の音楽家の演奏をお届けいたします。

**【コンセプト】**

かつてピアニストを目指していた佐藤研一郎の音楽への想いを形にするために、世界で活躍する一流の音楽家によるコンサートを毎年ローム シアター京都にて開催し、音楽文化の普及に貢献する。

佐藤研一郎（Ken Sato）

**【Ken Sato Memorial Concert Vol.4について】**

「伊藤恵が弾くロマンの世界 ～渦巻く慟哭、甘美な夢～」と題し、音楽史に燦然と輝く名曲の数々を知り尽くした伊藤恵が「渦巻く慟哭」や「甘美な夢」をロマンティックに奏でます。

**【公演概要】**

| | | |
|---|---|---|
| 公演名 | ： | **ROHM CLASSIC SPECIAL**<br>**Ken Sato Memorial Concert Vol.4**<br>**伊藤恵が弾くロマンの世界 ～渦巻く慟哭、甘美な夢～** |
| 日程 | ： | 2025 年 1 月 18 日（土） 14：00 開演（13：20 開場） |
| 会場 | ： | ロームシアター京都　サウスホール（京都市左京区岡崎最勝寺町 13） |
| 出演者 | ： | 伊藤恵（ピアノ） |
| 曲目 | ： | ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第 8 番 ハ短調「 悲愴」 op.13<br>シューマン：幻想小曲集 op.12<br>ショパン：ノ クターン 第 2 番 変ホ長調 op.9-2<br>シューベルト：ピアノ・ソナタ 第 18 番 ト長調「 幻想」 D 894 |
| 入場料 | ： | S 席（1 階） 4,000 円 ／ A 席（2 階） 3,000 円 （全席指定・消費税込） |
| チケット販売 | ： | 2024 年 10 月 18 日（金） otonowa （075-252-8255）他 にて販売開始 |
| 主催 | ： | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション |
| 協賛 | ： | ローム株式会社 |

※本コンサートについてオンライン配信の予定はございません。

**【伊藤恵コメント】**

©武藤章

この度は、佐藤研一郎様のメモリアルコンサートに出演させて頂くこと大変光栄で、心から感謝申し上げます。

佐藤様はショパンがお好きと伺い、最初はオールショパンプログラムを考えました。しかし、私にとってショパンは、とても素敵な、でも近寄りがたい雰囲気を持った方で、遠くから彼の姿をそっと拝見しているような感覚です。そこで、佐藤様が愛したショパンのノクターンをプログラムの中心に置き、私が日々向かい合い、一方的に語りかけたり、時にあちらから声がするような錯覚を覚える、敬愛し身近な作曲家でプログラミングすることにいたしました。ベートーヴェン、シューマン、そしてシューベルトです。そして、シューマンは幻想小曲集、シューベルトは、幻想ソナタと、ファンタジーというキーワードが隠しテーマになっています。ベートーヴェンのピアノソナタは、全ての作品がファンタジーに溢れて、新しい世界を創造しています。

ロマン溢れる美しいファンタジーに彩られたプログラム、ショパンのノクターンを佐藤様へ献奏したく存じます。

最後になりましたが、ローム ミュージック ファンデーションの奨学生として、何人もの弟子達がお世話になり、海外に羽ばたき夢を実現しようとしております。そして、私がコンサートプロデューサーを務める武生国際音楽祭にも、毎年助成して頂き、いつも大変感謝しております。

この演奏会を、佐藤様への感謝の気持ちにかえて、心を込めて演奏させて頂きます。

**【会場を美しいお花で装飾】**

「Ken Sato Memorial Concert」は美しいお花で会場を飾り、お客様をお迎えいたします。

©佐々木卓男

Ken Sato Memorial Concert Vol.3　会場の様子

以上

# Ken Sato Memorial Concert Vol.4

## ROHM CLASSIC SPECIAL

# 伊藤恵が弾くロマンの世界 ～渦巻く慟哭、甘美な夢～

KEN SATO MEMORIAL CONCERT VOL.4

**2025 1.18 |土| 14:00 開演（13:20 開場）**

**ローム シアター京都 | サウスホール |**

S席（1階）4,000円 / A席（2階）3,000円
（全席指定・消費税込）

【チケットお取り扱い】

- ローム シアター京都チケットカウンター　075-746-3201
- 京都コンサートホールチケットカウンター　075-711-3231
- チケットぴあ　https://t.pia.jp/ ［Pコード:271-178］
- イープラス　https://eplus.jp/otonowa/
- otonowa　075-252-8255
- エラート音楽事務所　075-751-0617

※電話予約のみ

《お問合せ» otonowa　075-252-8255

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※都合により内容等変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛: ローム株式会社

Rohm Music Foundation ローム ミュージック ファンデーション

ROHM SEMICONDUCTOR

© Akira Muto

*Program*

**● 第1部**

ベートーヴェン　：ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調「悲愴」op.13
シューマン　：幻想小曲集 op.12

**● 第2部**

ショパン　：ノクターン 第2番 変ホ長調 op.9-2
シューベルト　：ピアノ・ソナタ 第18番 ト長調「幻想」D 894

# Ken Sato Memorial Concert

ROHM CLASSIC SPECIAL Vol.4

## 伊藤恵が弾くロマンの世界 ～渦巻く慟哭、甘美な夢～

経営者でありながら、文化人としても音楽文化の普及と発展に尽力した佐藤研一郎。自身の愛する音楽を通じて社会に貢献するため、数多くの音楽文化支援活動を行ってきた故人の功績を称え、美しいお花に囲まれたステージで一流の音楽家によるコンサートをお届けします。

音楽史に燦然と輝く名曲の数々を知り尽くした伊藤恵がロマンティックに奏でます。

佐藤研一郎が所有していたピアノ

## 佐藤研一郎と音楽 <1931年～2020年>

Ken Sato

半導体、総合電子部品メーカーであるローム株式会社の創業者、佐藤研一郎は、ヴァイオリニストの父を持ち幼いころから音楽に親しみ自然に音楽を志すようになりました。ピアニストになる夢を持ち続け研鑽を積んでいましたが、コンクールで思うような結果を出せず、その夢を諦めた佐藤研一郎は、ラジオ修理のアルバイトから興味をもった抵抗器の研究に没頭するようになります。そして自宅の風呂場で開発した「平行リード型固定抵抗器」の実用新案を基に、1958年に東洋電具製作所（ローム株式会社の前身）を創立し、音楽とは異なる道を歩み始めました。

会社を成長させる一方で、音楽を愛する気持ちを持ち続けた佐藤研一郎は、「音楽文化の支援活動」でその想いを形にしていきます。1965年『目で見る音楽史』出版に始まる様々な音楽文化支援活動を行い、1991年にこれらの活動を継続的かつ安定的に実施するために佐藤研一郎とローム株式会社が中心となって、音楽文化支援を行う『財団法人 ローム ミュージック ファンデーション』（現在は「公益財団法人」）を設立しました。

ローム ミュージック ファンデーションの理事長として、音楽文化の普及と発展のために様々な事業を行いましたが、特に若い音楽家の支援に力を入れていました。それは、自身が「音楽家になることの苦労」を一番理解していたからでした。同時に、「音楽っていうのは、一人だけで上手に弾けるようになるわけじゃない。チケットを買って聴きに来てくれる人がいるから、舞台で弾こうって気にもなる。支援の目的として聴衆の輪をひろげるのも大事なこと。」と、多くの人に音楽を親しんでもらいたいとも願っていました。その想いはいつまでも色褪せることなく、ローム ミュージック ファンデーションの理念に受け継がれ、現在も多くの音楽家への支援、そして音楽を親しんでいただく機会を増やすことに繋がっています。

## ピアニスト 伊藤恵

Kei Itoh

ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ライグラフ氏に師事。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響（現hr響）、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本ではN響をはじめ各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍。CDの代表作は、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアーナ1～13」。2007年秋には全集完成記念コンサートを行った。さらに、2008年にリリースを開始した「シューベルト ピアノ作品集1～6」は1作ごとに注目を集め、第6集は2015年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。最新盤は「ベートーヴェン ピアノ作品集2」（フォンテック）。また、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、軽井沢音楽祭、リゾナーレ音楽祭、東京・春・音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンなどに参加、武生国際音楽祭ではコンサートプロデューサーを務める。1999年から2006年までの8年シリーズではシューマンを、2008年からの新たな8年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催。2018年からは、ベートーヴェンを中心としたリサイタルを開始。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。2018年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

オフィシャル・ホームページ　https://kei-itoh.com/

## 音楽を育み、豊かな文化を。

ローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の発展・普及のためにこれからの音楽界を担う若い音楽家の育成や、音楽をより身近にするため多くのコンサートを開催・支援することで聴衆の拡大を目指しより良い社会づくりに貢献していきます。

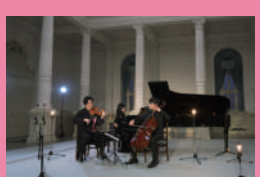
### 音楽文化の発展 ～音楽家の育成～

奨学援助

ローム ミュージック セミナー

### 音楽文化の普及 ～聴衆の拡大～

ローム ミュージック フェスティバル


Kyoto×Classics（配信公演）

RMF&山田和樹グローバルプロジェクト

その他の活動など事業の詳細はこちら